

第57号紙面構成  
 【第1面】特集／高校再編・市長選【第2面】活動報告／ちくま未来チャット【第3面】行政／千曲市総合防災訓練【第4面～5面】特別紙面／千曲市長選【第6面】会員企業紹介【第7面】学校／千曲坂城クラブ【第8～10面】地域・トピックス／村上小150周年・冬期ニジマス釣り・屋代小日本館【第11面】カルチャー・連載【第12面】スポーツ／信州BWほか

### 千曲坂城地域 市民広報紙

ちくま未来新聞 WEB

# ちくま未来新聞



編集発行 一般社団法人ちくま未来戦略研究機構 編集 白石茂樹  
 〒387-0012 長野県千曲市大字桜堂 521-1 TEL・FAX 026-214-7905 mail.info@ckm-mirai.org

### 10月の花 萩



地球の水と空気をもっときれいに  
 株式会社長野セラミックス

## 今月のちくま百景



### 三本木神社御神楽 (上山田 三本木)

正徳2年(1712)に諏訪大明神を祀り、諏訪社として創建された三本木神社。地域住民の五穀豊穡と無病息災を記念する御神楽と獅子舞は近年担い手不足で中断していたが、上山田神楽保存会の協力で今年およそ30年ぶりに復活した。9月22日午前9時、能登半島を襲った豪雨の影響を受けた強い雨と風のなかリヤカーに乗せた「獅子宮」が神社を出発。雨のため神輿は取りやめたが、70人ほどが地域巡行に参加。子どもたちも合羽を着込み神楽の音色に続いて歩いた。責任総代宅の前では獅子舞が取り出され舞と御神楽を披露。すると獅子舞の登場と共に雨が上がり、日も差し込む天候に。休憩後、堤防治いの水天宮の前と自治会長宅などでも再び獅子舞を舞って巡行は無事終了した。午後には神社境内で子どもの奉納相撲も執り行われ、大勢の児童が参加した。



写真(大) 地域巡行  
 写真(小) 獅子舞

## 長野千曲総合技術新校 第4回懇話会 千曲市で開催 意見交換の場を初めて設置

高校再編を巡る新たな動き  
 屋代南高校と松代高校、更級農業高校の再編実施計画の第4回懇話会が9月3日、千曲市役所で開催された。会議では県教育委員会から第3回懇話会のまとめが報告されたほか、「再編に関する基準等」について再検討することとし、基準の適用を一定期間保留することが改めて提案された。その理由としてICTの活用により遠隔授業や合同授業など学び方が多様になったことや、「特色ある県立学校づくり懇談会」内で想定以上に少子化が進む中で現行の再編基準がこのままでよいのかとの意見が出されたことなどが挙げられた。



更級農業高校の学科再編について説明する県教育委員会高校再編推進室、佐野室長(右) 更級農業高校、武藤校長(左)

また、更級農業高校の来年度からの学科再編について武藤校長から説明があった。それによると農業科を従来の4学科8コースから、3学科6コースに変更するとしている。これに対して千曲市の小川市長と小松教育長から新しい学科、コースがフットやフワワーアレンジメントなど屋代南高校のライフデザイン科と重なる分野にまで及んでいる。高校再編後の総合技術新校が更級農業に集約されてしまうのではないかと「危惧がある」と疑義を呈した。

一方、今回初めて行われた意見交換の場で篠ノ井地区の構成員から「議論が抽象的。もっと本筋の話が入って良いのではないか」との意見が出された。また、懇話会の開始時刻が「18時からでは高校生が参加しにくいので早めてはどうか」との提案も出され、次回からは17時開始に変更されることが決まった。次回開催は11月または12月で会場は篠ノ井交流センターの予定。



## 10月27日投票 千曲市長選 2氏が正式に立候補を表明へ

8月28日、元千曲市職員の洞田英樹氏が会見を開いて、千曲市長選へ終日に閉会あいさつの中で立候補の出馬表明を行った。また、現職の意思を正式に表明した。

小川修一氏(無所属・現職)  
 自らの市政について「千曲市の民間の市長として全ては市民のために信念を持って困難な課題を先送りすることなく決定した」と総括。「自主財源を増やすための成長戦略も重要」とし、屋代SIC事業化、企業立地の具体化、四年制大学の誘致実現などの成果を挙げた。「今後も財政規律を守りながら社会基盤の整備、未来への投資を行いたい」



立候補表明(9月議会最終日閉会あいさつ)

洞田英樹氏(無所属・新人)  
 一番の出馬理由は「この2年間で多くの若手職員が辞めていること。千曲市にとつて大きな損失」と語る。総合運動公園事業については「ハンドボールコート2面を確保。稼げる体育館に」と唱え、大会の誘致を提唱した。大型事業に関しては「十分な議論と検討を行いながら推進すべき」とし「効率的な予算配分へ見直しが必要」と訴えている。



記者会見(8月28日・千曲市総合観光会館)

### キラキラ輝く千曲市の未来！ 誰に託しますか？

**千曲市長選挙**

投票日 10月27日(日)  
 投票時間 朝7時～夜8時まで  
 (一部地区は夜7時まで)

当日投票に行けない人は、期日前投票ができます。

- ◆投票期間 10月21日(月)～10月26日(土)まで
- ◆投票時間 朝8時30分～夜8時まで
- ◆投票場所 千曲市役所1階マルチルーム(ガレリア通路) 千曲市ふれあい福祉センター 2階 ロビー

千曲市選挙管理委員会／千曲市明るい選挙推進協議会

大型バス・小型バス ご利用ください

Shimika シンリクグループ

おねがーい!

シンリクゾーン

### 安全輸送

信濃陸送株式会社 有限会社シンリク観光

物流 026-273-3601  
 観光 026-273-1122 タクシー 026-273-2200

〒387-0001千曲市大字両宮663-5 イフワフ

フワフ エンマン

## ケーブルネット千曲 10月のおススメ

株式会社 信州ケーブルテレビジョン

ケーブルネット千曲 12ch 放送日程

**うんどうかい 特集**

保育園 幼稚園 小学生 中学生 高校生 大学

10月17日 10:00/21:00	10月18日 10:00/21:00	10月19日 10:00/21:00
10月20日 10:00/21:00	10月24日 10:00/21:00	10月25日 10:00/21:00
10月26日 10:00/21:00	10月27日 10:00/21:00	10月31日 10:00/21:00

ケーブルネット千曲 GUIDE 毎月1日新聞折り込み  
信州ケーブルテレビジョン ☎ 026-272-1660

楽しい千曲市!

まち 未来チャット 2024

9/23日

住み続けたい街にするには?

ちくま未来戦略研究機構では9月23日「まち未来チャット2024」を開催した。今回は「千曲市の人口ビジョンと実態は」と題し、信州地域学会代表の石澤孝さん(元信州大学教授)をフアンリテーターに招いた。冒頭でBS-TBS「報道1930」で放送された「人口半減社会の解決策」一回を公式YouTubeの配信で視聴。その後、千曲市企画政策課と都市計画課の職員より、第2期千曲市人口ビジョンと第三次千曲市総合計画における人口減少の現状分析や対策のほか、現在改定が進められている市の立地適正化計画などについて説明を受けた。これに対し参加者からの質疑応答で、千曲市独自の少子化対策の考え方や質問や要望が出された。行政側が把握していない情報について市での活用を求める意見もあり、活発な討議が交わされた。

## 未来戦略広場 十文字風

当機構では地域の皆さまからの「未来戦略・提言」を広く募集しています。文章量は150~200字程度でお願いします。匿名やペンネームも承りますが、必ずお住まいの地域をご明示下さいませようお願いします。

【メールアドレス】 [info@ckm-mirai.org](mailto:info@ckm-mirai.org)  
 【FAX】 026-214-7905  
 【お手紙】 〒387-0012 千曲市桜堂521 西沢書店2階 ちくま未来戦略研究機構宛て



会場：ちくま未来ステーション (9月23日)

(一社) ちくま未来戦略研究機構  
**まち未来チャット2024**

## 第2回ちくま検定の様子

10月20日 市内4山城で実施

戦国時代に使われていた通信手段の狼煙(のろし)で山城を結ぶ「第2回千曲市山城狼煙リレー」が今月20日に開催される。主催の3団体(一重山みらい会議、千曲市川西地区振興連絡協議会、新山の歴史と自然に学ぶ会)では各団体が里山の保全・整備で活動しているそれぞれの山城から狼煙を上げる。今年も南の入山城からスタートし、荒砥城、屋代城、小坂城の順でリレー。最後は4城一斉に点火を行う計画となっている(荒砥城は市歴史文化センターが担当)。

現在各団体では初めての実施となった前回の経験を活かし、使用する杉の葉の状態や点火するタイミングなどを改善して準備を進めている。なお、見学会が土砂崩れで休園中の荒砥城以外は現地での見学も可能(開始時刻午前9時、※荒天の場合は中止)。

## 第3回ちくま検定 開催要領が決定

今年で3回目の開催となる「ちくま検定」の詳細が発表になった。検定日は12月1日(日)10時。会場は昨年と同じく千曲市総合観光会館。応募受付は(一社)ちくま未来戦略研究機構D026-214-7905 または090-3083-0381(柳澤) 【受付期間】10月20日~10月31日

(写真) 第2回ちくま検定の様子  
 第2回ちくま検定の様子と解答は下記QRコードからご確認ください。

## 一重山みらい会議 狼煙リレー準備

9月の定例作業では先月に引き続き山頂眺望の伐採のほか、先月設置した記帳台を塗装し東石で固定。台風などで台が倒れないようしっかりと脚部を安定させた。また、狼煙リレーに備えてドラム缶を運び込んで設置(写真)したほか、主郭周辺の草刈り作業も行った。

(一社) ちくま未来戦略研究機構 「公式LINE」アカウントを開設

ちくま未来戦略研究機構ではYouTubeに続きLINEの公式アカウントを開設しました。左記の緑色QRコードから友達登録が可能です。携帯でLINEを開いて友達追加のQRコードで読んで頂くと登録が完了します。facebook、X(旧twitter)、instagramなどと共に情報発信をして参りますのでどうぞご活用ください。

ちくま論説 さらはにぞム

▼現職市長VS行政現場で市長を支えてきた部長、という構図の千曲市長選挙がいよいよ今月27日に行われる。明るく住みよい千曲市を目指して共にまちづくりに関わってきたお二人が、なぜ戦わねばならなくなったのか!この点がよくわからない。市長の実績は、部長職の彼をはじめ千曲市全職員の協働と、市民の支援あってこそその積み重ねであるのだが。▼もう一つ、投票する市民にとって立候補予定者2人の知名度がいまいちだ。現職市長はことあるごとに新聞などに報道されているが、それだけの情報だし、特に対抗の候補予定者は、37年間千曲市職員として街づくりに邁進した実績だけで、一般の市民には殆ど知られていない。それ故、選挙運動を展開している両陣営にとっては、候補者本人の人物や能力、実績をいかに有権者に伝えて得票を積み上げていくのか、熱い戦いを強いられている。▼そんな折先月末、科野青年会議所(JC)地域プランニング委員会の野口拓馬委員長より「千曲市長選挙公開討論会」実施の案内を受けた。実施目的は有権者の政治意識の高揚と選択の明確化を助ける場を設けるのだと言う。願ってもないことだ。▼約50年前に創立したJCが久しぶりに若い血潮を千曲市の未来のために、注いでくれることにJCのOBとして嬉しい限りだ。市長選公開討論会は今月の18日(金)午後7時より9時、会場は上山田の千曲市総合観光会館。▼この討論会は千曲市の将来の明暗を決定付ける重大な集会と言っても過言ではない。巨額の大型事業が山積している財政問題、千曲市の県立高廃校の危機、市職員早期退職者多数発生など市行政組織や人事問題、大学受け入れ対応等々市民への情報公開の現況や、候補予定者の人となりなどを、市民が本人と直に接してコミュニケーションを交わす好機だ。▼選挙の投票行為は市政への唯一の直接参加。10月27日(日)投票日には「明るい千曲市」への入場券を持って投票所へお出かけください。

「もったいない」から「ありがとう」へ

## 食品大募集

### 第11回 フードドライブ

日時：令和6年10月11日(金)10:00~13:00  
 場所：千曲市役所庁舎 南側駐車場

【寄付していただきたい食品】  
**缶詰、カップ麺、レトルト食品、乾麺、お米 など 保存できるもの**

★寄付いただく食品は、次の条件を満たす食品とさせていただきます

- 賞味期限が明記され、1カ月以上あるもの
- 未開封のもの
- 包装や外装が破損していないもの
- 生鮮食品以外のもの
- お米は「古米」まで

持ち寄っていただいた食品は、市社会福祉協議会を通じて、食料を必要としている困窮世帯や子ども食堂等にお届けします。

【主催】 更埴ライオンズクラブ 【後援】 千曲市・千曲市社会福祉協議会  
 ご連絡・お問合せは TEL 026-272-4500 FAX 026-272-1700 (10:00~14:00)

## 夢と希望の未来戦略を創造

一般社団法人 ちくま未来戦略研究機構

### 新規会員募集

かけがえのないふるさとの未来を、市民・企業・行政等が一緒になって考え、まちの未来戦略をデザイン。そこから新たな「まちづくりひとづくり」を進める市民の会です。

◆入会金 5000円 ◆年会費 5000円(一口)  
 お問合せ・お申し込みは事務局 026-214-7905まで

※当日お持ちにならない方、年間通して食品等お預かりします。下記にご連絡ください。

# 令和6年度 千曲市総合防災訓練

## 震度6強の地震を想定 (会場:八幡小学校)



9月8日、八幡地区を重点ブロックに指定した令和6年度の千曲市総合防災訓練が実施された。今年度の訓練はマグニチュード7.7の地震が発生し、千曲市で震度6強が観測されたという想定。市内全域で家屋の倒壊や道路・橋梁の損壊が発生し、ライフラインに大きな被害が生じているという想定のもと実施された。

会場の八幡小学校には地震体験車も登場し、住民は震度5以上の揺れがどれほどのものかを体験した。倒壊家屋救出訓練では崩れた建築物

ジャッキ等を用い、てこの原理で持ち上げて下敷きになった人を救出する手順を実体験した。訓練は消防本部、県警機動隊、陸上自衛隊も参加。炊き出し訓練では非常食が配布されたほか、社会福祉協議会のブースは非常食のレシピなども配布した。体育館内では避難所設営や医療・救護訓練が実施され、最後は屋外ではしご車による救出訓練が公開された。



倒壊家屋からの救出訓練



はしご車による校舎上からの高所救出訓練

### 自転車の鍵かけ忘れずに！盗難防止啓発活動

9月10日、千曲警察署と更埴防犯協会連合会、千曲少年警察ボランティア協会は共同で自転車盗被害防止の啓発を行った。今年も駅の駐輪場から、例年10月に行ってきた街頭啓発を前倒しして、しなの鉄道屋代駅と千曲駅の自転車駐輪場で活動を実施した。早朝の通勤・通学時間に自転車利用者にはラッシュとワイヤー錠を配布しながら、2か所に施錠する「ツーロック」による被害防止を呼び掛けた。



屋代駅前自転車駐輪場(市営)での啓発活動

千曲署管内の今年1月からの自転車盗被害は20件発生。そのうち6割は12件が駅の駐輪場での被害だったという。また、被害に遭った自転車の8割は鍵がかけられていなかった。千曲署生活安全課の中村豊課長は「窃盗犯は無施錠の自転車を狙っている。出来れば二重に鍵をかけて盗まれないように注意してください」と話している。

### 水難救助に対する千曲署長感謝状贈呈 帰省中の女性とベトナム人男性が高齢男性を救出

7月20日に市内生萱の用水路に転落して動かなくなっていた90代の男性を、偶然通りかかった男女二人が救助した。9月6日に千曲署内で署長から感謝状が贈られた。

東京在住の野澤奈央さんは生萱の実家に帰省中に沢山川の堤防で助けを求めめる声を聞き、用水路に高齢の男性が転落しているのを発見。救助に当たったが、女性一人の力では引き上げることが出来ず、いたるところ、市内在住のベトナム人、グエン・ウィン・ティエンさんが自転車を通りかかり、一緒に男性の救助を行った。野澤さんは「自分一人の力では助け出すことが出来なかったと思う。グエンさんが来てくれたよかったです」と当時を振り返った。グエンさんはスクラ精機(株)のエンジニアで、昨年ベトナム人で初めて正社員として採用された。まだ難しい日本語は不得手だが、「あんなの状態を見れば誰でも助ける。(救助の際)わからない言葉もあったが、目的は一緒だ」と思っ行動しました」と話した。



表彰を受けた野澤奈央さん(左) グエン・ウィン・ティエンさん(右)



### パリ五輪出場 和田彩未さん千曲市に報告

パリオリンピックのアーティスティックスイミング(A.S)日本代表の和田彩未さん(早稲田大学)が五輪への出場報告で9月4日に千曲市を訪問した。和田さんは8月6日から8日に行われたA.Sのチーム部門に出場し、5位入賞を果たした。



和田彩未さん

千曲市役所では大勢の職員が迎え花束を手渡した。小川市長との面会で和田選手は「千曲市にメダルを持って帰ることが出来ず、本当に悔しい思いですが、沢山の方から応援をいただいた大舞台で泳いでこれたことは誇りです」と感謝を述べた。また、今年4月、練習でジャンプした際に水面で頭を打ち、その後水中でめまいがする後遺症に苦しめられていたと明かした。それでも五輪本番では何とか支障なく演技をすることができたという。今後について、まずは体をしっかり完治させることを目標にしていきたいと語り、来年の日本学生選手権でのチーム部門2連覇を目標に掲げた。(関連記事・第7面)

### 千曲市・坂城町9月定例会 主な提出議案と議決結果

- 【千曲市】議案第48号・千曲市公告式条例の一部を改正する条例制定について
- 第49号・千曲市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例制定について
- 第50号・令和6年度千曲市一般会計補正予算(第2号)の議定について(※編注・賛成11・反対6)
- 第53号・令和6年度千曲市介護保険特別会計補正予算(第1号)の議定について
- 第54号・令和6年度千曲市下水道事業会計補正予算(第1号)の議定について
- 第55号・令和6年度千曲市水道事業会計補正予算(第1号)の議定について
- 第56号・令和5年度千曲市下水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について
- 第57号・令和5年度千曲市水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について
- 第58号・戸籍情報システム機器更新費貸借事業の解約金額の決定について
- 第59号・長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 第60号・千曲市固定資産評価審査委員会の選任について
- 第61号・人権擁護委員候補者の推薦について(すべて可決)
- 【坂城町】議案第49号・坂城町教育委員会委員の任命について
- 第50号・坂城町固定資産評価審査委員会の選任について
- 第51号・長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 第52号・令和5年度坂城町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第54号・令和5年度坂城町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第55号・令和5年度坂城町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第56号・令和5年度坂城町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第57号・坂城町公告式条例の一部を改正する条例について
- 第60号・令和6年度坂城町一般会計補正予算(第3号)について(すべて可決)

世界に羽ばたく TAKASAKI QUALITY

最先端のマーケットで求められる技術開発への挑戦

## 正社員募集

一次選考は書類審査となりますので、まずは下記まで履歴書をご郵送ください。

本社 ■〒387-0007 千曲市大字屋代2810 ☎026-272-0669 E-mail: info@tp-takasaki.co.jp

株式会社

高崎製作所

株式会社

本社工場 ■〒387-0007 千曲市大字屋代2810 千曲工場 ■〒387-0015 千曲市大字錦物師屋171-2

建設工事を通じて地域の皆様の豊かな生活のためのお手伝いをしてまいります

葛尾組合りサイクルセンター建設工事(完成イメージ図)

メタウォーター・東洋・長坂・カネトモ特定建設工事共同企業体  
【施設建築工事を弊社が担当】

WB HOUSE

## 長坂建設株式会社

千曲市大字稲荷山7番地 TEL 026-272-2762

「土地さがし」もお任せ ⇒ アットホームで長坂建設を検索!!

# 【特集】千曲市長選への期待

## 両候補は現実を見た政策を

10月20日告示、27日投票の千曲市長選は、現職の小川修一市長と市の洞田秀樹前経済部長の「一騎打ち」の構図となりそうだ。今号では、千曲市の人口動態を踏まえて、人口減少への対策や産業面から市長選の政策となる争点を提案する。

現在の千曲市の総人口は、57846人(令和6(2024年)1月現在)。市の統計によると、平成12(2000)年の合併前での更埴市、戸倉、上山田町の総人口64549人をピークにして減少し続けている。当時より6703人減った。転入総数は令和4年と5年を比べると、1808人から1811人と若干増加したが、転出総数は1578人から1652人と増えた。特に15〜24歳の転出超過は続き、若い世代の転出が顕著となっている。

ただ、0〜4歳の乳幼児と5歳から9歳の学童期の子を持つ家族の転入傾向は続いているという。

昨年令和5年中の自然動態は、出生数は330人、死亡数は844人で、514人の自然減だった。

千曲市の各区、自治会別の転入者数では、寂時、杭瀬下、上徳間、内川の各区が前年より増えている。増加の理由は、国道18号線に通じ市を南北に結ぶ千曲線沿線に大型スーパーをはじめドラッグストア、カフェ、食堂などの店舗が増えており、生活の利便性から転入者が多い。そのほかの地区は減少しているか、横ばいとなっている。

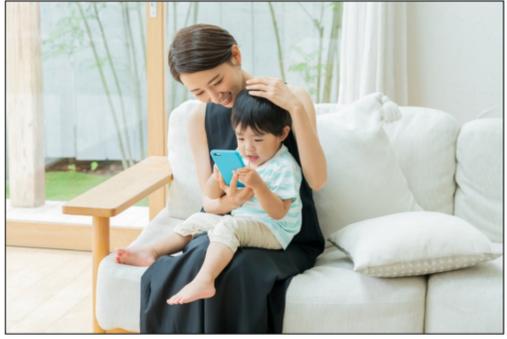


photo AC

### ◆子育てしやすい街に

千曲市が住みやすい魅力ある街になるには、どうしたらよいか。

まず出産や子育てしやすい街にすることが必要だろう。千曲市に住む方にはもとより、市外や県外からも「住みたいなあ」と思ってもらえるためには、乳幼児から児童、生徒の医療費は無料、小学校、中学校の給食費も無料にする。「所得制限なし」の無料化はぜひ検討してもらいたい。公約だ。ミルクやおむつなどは実費で負担してもらうにしても、乳飲み子や小さい子どもを抱えた両親がなんでも相談できる場所を市内に数カ所設けてほしいものだ。これらの提供はぜひ行政が知恵を絞って担当してほしい。財源がないという言い訳はあまり通用しない。外部のコンサルタントはやめて自前で考えてもらいたい。すぐに必要とされない事業は、ハードやソフトを問わずに見直しをしてほしい。市長選では、ぜひとも争点にして討論してほしい。

お金の給付は国にぜひ対応してもらいたい。おむつやミルクなど現物は市が支給するといった対応もできよう。

### ◆「お年寄り」への配慮を

子育て世代への支援とともに、お年寄りへの配慮は欠かせない。元気のいい方もいれば、足、腰が痛い、目がよく見えないといった身体がきつくなった方も多い。特に、今年の夏のような猛暑が続くと、なるべく外に出たくない方もいよう。こうしたお年寄りとの「対話の集まり」を当選した市長は時間を作って各地に出向いてぜひ実施してほしい。

市長は「市民の生の声」を聴く機会として、市役所と呼ぶのではなく、各地に行きついで併せて各現場をみてほしい。そうした機会を在任中にも作ってもらいたい。すぐできないこともあろうが、お年寄りをはじめ、各年齢層の地域の皆さんから市政に対する生の声を聴く機会が必要だろう。大げさな準備はいらない。自然体で各地での「市長との対話の場」を公約にしてほしいものだ。

### ◆大手傘下に地元企業 市は「連携」を検討して

千曲市の老舗企業はここに来て、大手企業のグループになっていくケースがみられる。老舗建設会社の中信建設は2023年1月に、合成接着剤「ボンド」で知られる「ニシ」の連結子会社となった。半導体関連のアップリカヤマダはヤマハ発動機の100%子会社となった。このほか、半導体パッケージ基板製造の新光電気



工業は富士通から政府系ファンドの傘下になった。半導体のセミコンダクター製造の長野電子工業は大手化学メーカー、信越化学の子会社となっているのは有名だ。

こうした地元企業が大手企業のグループになる背景には、単独で事業を続けていくことが困難になり、会社継続のためには、事業の多様化を図ることの必要に迫られて、大手の一員となっていく事情がある。こうした現状について、千曲市は「民間企業の事業だから」とたゞ静観しているだけでは始まらない。千曲市は物流の拠点となるインフラが整っている。高速道路の長野道と上信越道の結節点となる「更埴ジャンクション」は東京をはじめとした関東、北陸、名古屋、そして関西方面に陸上から展開するのに便利だ。さらに、しなの鉄道が南北に通る、駅も屋代、屋代高校前、戸倉、千曲と4つの駅がある。また須坂、松代と屋代を結ぶ長電バスも便数はピークからは減っているが沿線の住民の足となっている。

こうした交通網の利便性が、県外の企業が千曲市の地元企業と組む利点となっているのは間違いない。千曲市はさらに各企業との「連携」を深めるために、防災をはじめ地域共同の対策をさらに検討してほしいものだ。

### この7月下旬にこうした「企業連携」が発表された。

森川産業が、建築資材に強い吉銘グループの一員になった。森川産業の森川潤一社長は7月29日、ネットで9月1日付に奈良県に本社をおく建築資材のサプライヤーの吉銘(貝本隆三代)を中核とする吉銘グループに参画することを発表した。株式会社吉銘も森川産業との事業再

生を目的としたスポンサー契約を締結したと発表した。これで森川産業は吉銘グループとなった。

### 株式会社森川産業 (千曲市鋳物師屋)



森川産業は1945年の設立以来、自動車メーカーを顧客とする自動車向け鋳造部品の製造・加工に係る事業を営む千曲市を代表する老舗企業だ。本紙の会員企業の紹介で、戦後から歴史が垣間見える。両社の発表を総合すると、契約締結の理由については、森川産業は創業70年以上に渡って蓄積した製造ノウハウを活かし、製造現場の業務改善、原価計算の適正化に強みを持っている。

吉銘はこれまで複数の異業種のM&Aを推進し、譲り受けた企業において収益改善を実現している。森川産業は早急に財務基盤を改善し、経営体制の刷新によって、既存取引先との関係性を維持して事業の再生を目指すとしている。

吉銘がスポンサーとして支援することで、協業による収益の拡大、過剰債務の解消をはじめ、自動車分野以外の新規顧客の力強い開拓が可能になるとされる。吉銘が新設した子会社に森川産業ほかを分割承継会社とする吸収分割契約に基づいて、9

月1日を効力発生日として、森川産業の本社、本社工場及び八幡工場における事業に関して有する権利義務等を承継する。森川産業の事業再生、成長に必要な経営支援をするとしている。

以下、森川産業の発表によると、株式会社吉銘の概要は以下の通り。本店所在地は、奈良県吉野郡下市町。代表取締役社長は貝本隆三氏。資本金は7200万円、設立1970年1月(創業は1950年4月)

### ◆教育では未来志向の提案を

「千曲市にとってかけがえのない県立高校2校を維持し存続すること」と主張して、千曲商工会議所と千曲商工会は連名で市民への署名を呼び掛けようとしている。この主張は、県教委が各地で実施している有識者らによる懇話会のメンバーでもある千曲商工会議所副会長の矢島隆生フレックス・ジャパン社長の日頃からの考えでもある。

屋代南高の普通科とライフデザイン科の存在意義をもつ一度検討して、なんとしても存続してほしい。途中では、屋代南高の校地は残して、「千曲総合技術新校」(仮称)の一部学科を残すといった案が浮上した。うだが、屋代南高を丸ごと存続させるのが要望だ。地元の企業だけでなく、ながの東急百貨店や日本デルモンテの親会社のキックマンといった地域にゆかりのある企業もこの高校再編の動向を注視している。

さらに本紙でも何度か取り上げた「清泉大の農学部新設計画」も屋代南高の存続には大きく影響しよう。来年4月に男女共学となる清泉女学院大は「清泉大学」として共学化され、新たなスタートを切る。申請していた政府の「大学・高専機能強化事業」の審査がこの夏に通過して、旧更埴庁舎跡地に「農学系学部」が

新設される方向が固まった。醸造、発酵学、バイオテクノロジーを学ぶ場所となる。

清泉側は、屋代南高のライフデザイン科とは「何かできる」とすでに探っている。まさに「連携」に名乗り出そうとしている。ここに千曲市の発酵系系社もすでに連携を検討しているところもある。企業との連携はこの農学部創設の肝である。

また更級農業高校や松代高校の商業科とも一緒に連携策を検討してみたらどうだろう。生徒さんや保護者の皆さんの意見も聞きながら、性急にならずに地域や生徒の未来のための施策を提示してほしい。焦ることはない。こうした「橋渡し役」を買って出る市役所の意欲的な職員をはじめ、県会議員や市議員も名乗りを上げてほしい。見ているだけでは未来は語れないだろう。未来志向の連携についても、屋代南高の存続問題は身近な課題として市長選の争点でもあろう。

千曲市には様々な可能性がある。各地域の皆さんは、この住んでいる地域がどうなっていくのかに、少しでも興味をもってほしい。そして市長選の候補者がどのような主張をして、施策をしようとしているかに耳を傾けて、いかに市民の各年齢層の意見を聞いているかを見極めてもらいたい。そして、「これは」と思った候補者に一票を投じてほしい。(本紙特任記者 中澤幸彦)

### 千曲市長選挙

千曲市長選挙【選挙期日】  
令和6年10月27日(告示日)10月20日 任期満了11月10日



# 千曲市の街づくり「未来図」



9月23日午後2時から、ちくま未来戦略研究機構の主催で「まち未来チャット2024」が開催された。少子高齢化に伴う人口減少問題について意見交換する場となった。ファシリテーター(司会の役割に、発言をうながして会議をまとめる)は、信大名誉教授で信州地域学会代表の石澤孝さん。2月、5月のチャットに続いて3回目の仕切り役を務めた。2月には、長野県内の特徴ある中心市街地活性化策の具体例を紹介したうえで、「千曲市では市役所への自動運転循環バスの運行」を提案した。今回のチャットの締めくくりでも石澤さんは「前に提案した自動運転循環バスはどうですか」と念を押されていた。

今回のチャットは今年3回目となるが、千曲市から「千曲市の現状と今後のまちづくり」と題して、人口減少が地域の将来への影響について「第三次千曲市総合計画」づくりにあたって、千曲市の将来について16年後の2040年に人口の長期目標として50000人としている。

この目標人口は、第3次千曲市総合計画をつくるにあたって基礎となる数字という。すでに別稿でも触れているが、千曲市は20歳から39歳までの年代が大きく減少している。その背景は、高校を卒業した後、県外の大学や専門学校への進学、就職も市外となるケースが多いのが特徴とされる。

合計特殊出生率の推移では、2013〜2017年は1.45で2003〜2007年の1.41の最低水準と比べて上昇しているが、長野県の1.57に比べて低い水準。その理由には20歳から39歳の女性が少ない、25〜39歳の女性の未婚率が高いことなどをあげた。

人口減少によって地域の将来に与える影響を、小中学校の児童や生徒数の減少や、民間サービス施設、商業施設、医療施設、娯楽、文化施設は一定移住の人口規模の都市でないで存続が困難になるなどをあげている。ここで千曲市が紹介した国土交通省の資料「タビタビ」によると、ハンバーガー店は人口規模が3万2500人〜25000人の自治体規模だと立地する確率が50%及び80%となるという。千曲市にも有名なマクドナルドがあるが、存続の心配はあるのだろうか。

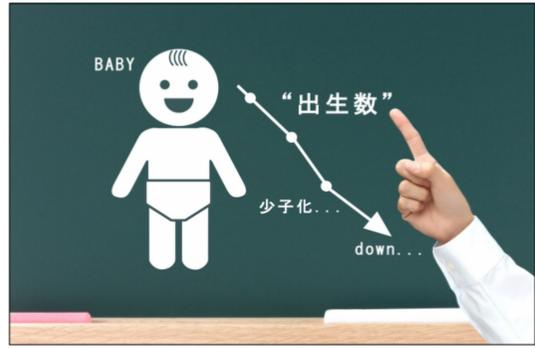


photo AC

総合計画に基づく個別計画も、防災、交通、都市基盤、子育て、教育、生涯学習、スポーツ振興、地域環境保全、公園緑地、歴史文化財、保健医療、高齢者福祉、商工業、農林業、観光振興、移住定住と多岐にわたる計画が作られるという。

説明は丁寧で分かりやすかったが、「マニュアルを踏まえた模範解答の印象がある」からこそ、街づくりにかかる個別具体的な課題、たとえば、2027年に創設される清泉大学の農学部への千曲市としてのかかわりはどうなっているのか。旧更埴庁舎の跡地を貸し出すからこそ、学生の居住する住まいについて市としてできることはないのか、屋代南高ラ イフデザイン科との連携、地元企業や食品関連企業との連携については協力体制はどうなっているのか。高等教育機関の招致というチャンスが来たのだから、千曲市として全面的に協力するなら具体的に土地の貸与だけでなく「連携策」をもっと示した方が分かりやすい。

石澤さんも指摘していたが、千曲市と清泉大との「包括連携協定」は結ぶことを前提にしてよく検討しておいてほしいものだ。

また5年前の令和元年10月12日に県内を襲った台風19号で千曲市は杭瀬下、八幡、栗佐など各地で床上、床下浸水の被害が広範囲に及んだ。市役所、近くの図書館、千曲商工会議所、理容室、漬物屋、コンビニも甚大な被害を受けた。政府の方針を受けて、千曲市のおかれている状況の再分析や新たな防災への取り組みを盛り込み、1年半後の令和7年3月に、千曲市立地適正化計画を改定するという。現場100回という千曲川沿岸を視察して、国、県とも連携して確固たる防災計画を作りたい。

◆再度の検討を  
本紙の新年号で、しなの鉄道の小島、杭瀬下を中心とする屋代駅前通り商店街と屋代駅前交差点から県道白石・千曲線を須須岐水神社に北側に向かう屋代の通りの「賑わい」を取り戻すために、いろいろな提案を紙面化した「未来予想図」を描いてみた。

この地域は現在、八十二銀行と長野銀行の両屋代支店の統廃合をはじめ屋代駅前一部のテナントビルの変化、韓国料理店の再オープンや、国道18号線沿いの日本デルモンテ長野工場の来月4月の操業停止による撤退によって街が大きく変わろうとしている。またプロバスケットボールチーム信州ブレイブフォリオアーズのホームが長野市に移り、千曲市のファンをがっかりさせる出来事もあった。

◆「ヘルスセンター」から「ヘルシーロード」に  
この地区にほしい施設は、お年寄りや、家族連れも若者も誰もが集う「銭湯」、できたら「スーパー銭湯」だ。この地域はクリニック、デンタル、整骨院、そして薬局がそろっている。この強みを生かさない手はないだろう。千曲中央病院のある杭瀬下の交差点周辺から屋代駅前通り。そして県道白石・千曲線(県道392号線)の屋代駅前交差点を北に向かうとホテルルートイン更埴の隣には、鶴沢眼科病院が開業した。ウォーキングをしやすい設備(ベンチや距離を示すマーカーなど)を整えてほしい。

そのうえで「リハビリテーションセンター」を備えた「健康センター」ができれば、「あんずヘルシーロード」(仮称)は、想像の「未来図」ではなく、現実的なものとなってくるのではないだろうか。

◆戸倉駅前の開発について  
しなの鉄道の戸倉駅前の開発については、現場をよく取材して次号以降に記事化したい。千曲市の担当者は書類づくりで忙しいだろうが、データをもっと何ことも現場にきてよく見て観察してほしい。

市長候補には、市内の各地で今から市民が何を求めているかによく耳を傾けてもらいたい。  
(本紙特任記者 中澤幸彦)

一方、須須岐水神社から屋代駅に向かう県道白石・千曲線沿いにはかつて五十店ほどの商店があった。雑貨屋、衣料品、お茶を売る店、何軒かの菓子屋、饅頭、煎餅、魚屋、八百屋、雑貨、文具店、町中華が軒を連ねていた。それが今や、酒屋、雑貨店、すし屋、3軒の理容室、薬局、昔からのお客さんがいる美容室、クリーニング店など10店余りとなった。県道が拡張されたのをきっかけに、お店を閉店したところも多いと聞く。

## 記事の訂正

9月号の第5面・千曲市長選挙の記事中に誤りがありましたので訂正いたします。  
(誤)年間常会費も屋代1区の場合合は60000円  
(正)年間区費も屋代1区の場合合は諸経費も含めて60000円

### 第三回 ちくま検定

大好ま ちくま

検定日 令和6年 12月1日

【会場】千曲市総合観光会館 2階会議室

■開催時間:【受付】9時30分〜【検定】10時00分〜(90分間)

■定員:60名(先着順) ■受験料:1,000円(中学生以下:無料) ■受験資格:制限なし

■出題範囲:「ちくま百科(Web)」※QRコードからもご覧いただけます。

■申込期間:令和6年10月20日(日)〜10月31日(木) ■受付時間:10時00分〜16時00分

■応募方法:窓口受付のみ ■窓口:(一社)ちくま未来戦略機構(西沢書店2階)

【主催】ちくま検定実行委員会(千曲市教育委員会、千曲市会館、戸倉上山田商工会、(一社)科野青年会館(一社)信州千曲観光、千曲市観光ボランティア協会、(一社)ちくま未来戦略研究機構)

【後援】千曲市  
【協賛】(協賛)戸倉上山田コーポレーション、更埴コーポレーション、戸倉上山田ライオンズクラブ、更埴ライオンズクラブ、長野電子工業(株)、フレックスジャパン(株)、(株)八光興業(株)長野セラミックス、千曲中央病院、丸善食品工業(株)、滝沢食品(株)、長野製菓(株)(株)長野産業、ホテルラフット、上山田商店(株)、(株)信州観光バス、更埴観光タクシー(株)、(株)鳩山ハイヤー、寺河印刷、(株)山の産業建設(株)シナスクリン工業、万葉製菓堂、千曲市商店組合

【事務局】(一社)ちくま未来戦略研究機構 〒387-0012 千曲市屋代521 屋代西沢書店内 電話:026(214)7905 又は 090(3083)0381(携帯)

### 第26回 千曲菊花展

会期:2024年10月25日(金)~11月15日(金)

会場:武水別神社境内 特設花壇

住所:長野県千曲市八幡3012

入場無料

今年で26回目を迎える、恒例の千曲菊花展が開催されます。千曲菊花愛好会の見事な創作花壇や市内小学生が丹精込めて育てた菊花が目を楽しませてくれます。ぜひ、お出かけください。お越しをお待ちしております。

主催:千曲菊花展実行委員会  
協賛:千曲市、千曲商工会議所、武水別神社、千曲菊花愛好会、八幡まちづくり実行委員会  
後援:千曲市会館八幡支部  
お問い合わせ先:千曲菊花展実行委員会事務局  
(千曲市会館内)長野県千曲市杭瀬下3-9 電話:026-272-1223

## 棄権はNO!

千曲市長選挙は、平成15年に市が誕生して以来、6回の選挙がありました。(内1回は無投票)

**前回の投票率は50.05%**

選挙権のある市民の約半分の方が棄権しています。

**千曲市の未来を託す大切な選挙 必ず投票に行きましょう。**

**その一票が未来を創る**

令和5年度 明るい選挙啓発ポスターコンクールから

# 千曲市 会員企業紹介

## VOI:8 滝沢食品株式会社

(一社)ちくま未来戦略研究機構の会員企業の特集コーナー。  
第8回は千曲市屋代の信州そば処一松亭でお馴染みの「滝沢食品株式会社」です。

### 滝沢食品

信州そば処



が大きく、年間を通して気温の差が大きい地では、この乾燥工程における温湿度管理が製品の品質に大きく影響を及ぼす。工場では全自動システム大型乾燥製造設備を使用しているが、それでもこの工程では熟練社員の経験、感覚による微細な調整が行われて初めて、茹でた際の食感、のど越し、味ともに均一で安定した品質の商品となる。

信州を代表する食品といえば、「そば」を思い浮かべる人も多いだろう。一日の総製造量は約20トン。滝沢食品株式会社は、千曲市内2か所の工場で、乾そばの製造を手掛けている。

味、魅力が消費者に再発見されたこともあり、乾そばの国内需要は堅調だ。その中でも「十割そば」は全国にファンが多い看板商品となっている。これからも家庭用商品をメインに、消費者に身近な乾そばメーカーとして日本の伝統食でもある「そば」の味を守っていく考えだ。

滝沢食品で製造している乾そばは殆どが、全国へ出荷される家庭用商品だ。北海道から沖縄までスーパー等小売店で販売されている他、Amazon等でのネット販売も伸びが大きく、一部商品は海外への輸出も行っている。

そば作りの製造工程は至ってシンプル。そば粉と水、商品によってはそこに小麦粉と食塩。それらを混ぜ、良く練り、薄く伸ばしたものを細く切る。手打ちそばだここまでは

乾そばのラインナップは、そば粉高配合の「十割そば」や「八割そば」を中心に、手頃な価格でそばの味をしつかり楽しめる「信州そば」、山いも粉入りの「ざるそば処」、また大手スーパーチェーンのPB商品など、全体で15種類ほど。近年の健康志向の高まりの他、コロナ禍を経て、備蓄も可能な乾そばの

が、乾そばづくりでは、ここからもひとつの肝となる。それが「乾燥」工程だ。細く切られた麺を、一面ステンレスパネルの乾燥室の中で、温度と湿度を細かく管理しながら、およそ7〜8時間かけて少しずつ乾かしている。信州のような、一日の中での気温の変化

会社内を見ても、製造現場の社員はほぼ全てが正社員であり、ここ10年弱は、毎年複数名の新卒・高校卒の社員が入社し、社員構成もだいぶ若返りしてきた。現在は全体の3分の1が10代、20代の若手社員となり、熟練の社員から若手の社員へと、日々技術の継承を行っている。社員にとって安心して落ち

着いて仕事ができる環境を整えることで、ひいては、地域に根付いた企業としてこの地域への貢献が出来ると考えている。また、食の安全が強く求められる時代だからこそ、社員一同、「口に入るものをつくる責任重大な仕事」という使命感を持って取り組んでいる。

10月初旬からは、「新そば」がスタートする。「新そば」は、この秋に収穫されたばかりのそばで、その青みがかつた色みど、雑味のない甘さが特長。一年でこの時期だけのそば好きにはたまらないシーズンだ。この「新そば」の粉を使って作った乾そば「信州そば処一松亭のそば」(200g税込み280円)も10月末には販売となる予定だ。



(写真上) 本社外観 (写真中) 乾そば製品 (写真下) 一松亭メニュー

全国の方に「信州そば」の味を知ってほしい、もっとおいしいそばを提供したい、その思いでこれからも社員一丸となって地道に製造活動を続けてい

●事業の概要  
創業 1913年(大正2年)  
資本金 2000万円  
代表取締役社長 滝沢秀治  
従業員 62名(男20名、女42名)  
乾そば製造販売、そば飲食店  
本社工場:千曲市屋代2783  
倉庫工場:千曲市倉科1335  
信州そば処 一松亭:千曲市屋代2788



信州そば処 一松亭 全景

## 滝沢食品株式会社

電話 026-272-0333

信州そば処



長野県千曲市大字屋代2783 電話(026)273-1102  
営業時間 午前11時から午後8時(午後7時半ラストオーダー)  
定休日 水曜日(但しGW・お盆・年末年始・その他祝日の水曜日は営業)

おいしさをお届けできる喜びと幸せ、  
いつまでも大切にしつづけます。

そばの味わいを極めた滝沢更科シリーズ



## 滝沢食品株式会社

長野県千曲市屋代 2783 ☎(026)272-0333



# 千曲坂城クラブ 18 専門部紹介

## 「千曲坂城クラブ」VOL⑦ 軟式野球専門部



軟式野球専門部は、更埴少年野球クラブとして更埴地区の中学生を対象に、青少年の健全育成と現在の少年野球や部活動では十分にできない技術指導やチームと個の課題追究のための練習時間の確保を目指して、令和3年度から活動を始めています。令和5年度千曲坂城クラブ設立に伴い、更埴少年野球クラブの活動をそのまま継承して現在活動しています。

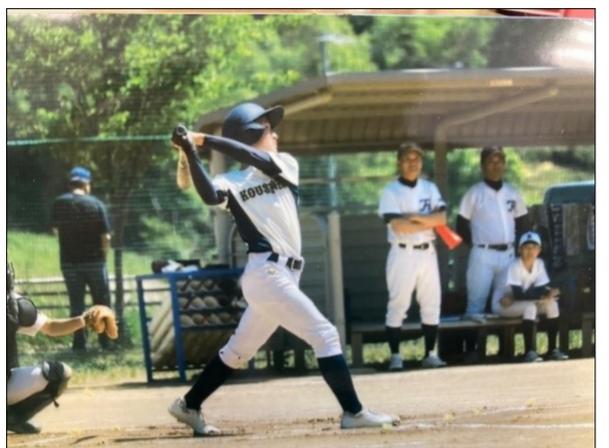
私たちの専門部では「野球を通じた人間形成」「中学世代の野球人口の増加」「友だちの輪の拡大」を目標としています。そして指導者は、各地区からクラブの結成趣旨に賛同した方や千曲坂城クラブ設立の趣旨や規約を理解していただいた方々に参加していただき、全日本野球協会や軟式野球連盟の公認資格を持つ方を中心に、中学生の発達段階に適した指導を行っています。

練習時間は、中学生期にふさわしい時間を確保し、月1回の野球教室や班合同の練習や班ごとの練習等を行っています。また中学3年生では、高校野球を見据えての指導も行っていきます。「一流の野球人」を目指し、技術向上の指導だけでなく、感謝の心や礼儀等についても大事に活動しています。

活動を進めるなかで、大勢で活動することによってより活気がうまれたり、他校の生徒と新たな交流や絆がうまれたり、専門部として新たな成果が見え始めています。

中学生で本格的に野球を始める生徒も少しずつ増えてきています。野球を好きになり、「生涯野球」につなげてくれる生徒が更に増えることを期待しています。

新たに加入してみたい人、指導者として軟式野球専門部の運営等に携わってくださる方、大歓迎です。ぜひ事務局・太田(090-55552-6449)までご連絡ください。よろしくお願ひします。



### パリ五輪日本代表

## 和田彩未さん

### 母校・五加小学校で講演

パリオリンピック日本代表でアテイスティックスイミング(A.S.)に出場した和田彩未さんが、母校の五加小学校を訪れ、後輩たちの前で講演を行った。5歳からA.S.を始めた和田さんは五加小の6年生の時に初めて国際大会に出場。その後、戸倉上山田中学校、上田西高校を経て現在の早稲田大学在学中に日本代表に選出された。

講演ではA.S.のルールや競技の内容を説明したほか、代表合宿でのスケジュールや厳しい練習、けがの後遺症で苦しんだことなどに話が及んだ。パリ五輪選手村の食事を写真を交えて紹介すると、五輪エンブレムの形のフランスパンに児童らから歓声が上がった。5位入賞を果たした実際のA.S.チームでの動画も上映され、和田さんの見事な演技に拍手が沸き起こった。児童からの質問コーナーでは「オリ



講演する和田彩未さん

ンピックで楽しかったこと」「選手になるためにどれくらい練習をしたか」などが尋ねられた。また「くじけずにやってこられた理由」について和田さんは「友達や家族が支えてくれた」と話した。最後に和田さんは児童らに伝えたいこととして「目標を立ててそれに向かって頑張る。最後まであきらめないで達成感を味わってほしい」と語りかけた。【関連記事・第3面】



## 屋代高校附属中学校1学年 宿泊学習ワークショップ

総合的な学習で千曲市の地域振興について探求している屋代高校附属中学校の1年生が「宿泊学習ワークショップ」を行った。これは生徒たちが街づくりに取り組む地域住民と関わり、主体的に行動して「大人になっても戻ってきたいと思える千曲市」を創造することを目的としたもの。今回は人が集まる場所・イベントの「まちづくり企画」を6グループに分かれて討議し、メリットや課題を探る。ワークショップは9月12日午前中から、千曲市市民交流センターにてとてを会場に開始。各グループには(一社)ちくま未来戦略研究機構をはじめ市内外の団体から参加した大人らも加わり、「ディスカッションを重ねて企画を練り上げた。生徒たちは「戸倉創造館でのリア充イベント」「レトロ喫茶とスタンプラリー」「附属中学生徒が作成した千曲市のカプセルトイ」などのユニ



ワークショップの様子(千曲市市民交流センターとて)

クなアイデアをプレゼンした。生徒間の投票で「戸倉上山田温泉と連携した共通ポイントのアプリ製作とおよび作りなどのイベント」が1位となった。その後、生徒らは上山田温泉に移動し、夜は上山田ホテルに宿泊した。

第2回 千曲市山城 ちくまし 狼の煙リレー ちくまじろ

10/20日 9:00開始 軽

荒砥城は豊城路土砂崩れて休園中です。入場しての見学はできません。

9:00 入山城 9:05頃 荒砥城 9:10頃 屋代城 9:15頃 小坂城 4城一斉

主催 一重山みらい会議 / 千曲市川西地区振興連絡協議会 / 新山の歴史と自然に学ぶ会  
共催 (一社)ちくま未来戦略研究機構 後援 千曲市教育委員会 / 千曲商工会議所  
連絡先 090-5779-2920 (一重山みらい会議) 小坂城 090-4205-5233 (川西地区振興連絡協議会) 豊城路 090-234-2147 (千曲市歴史文化センター) 入山城 090-9668-9402 (新山の歴史と自然に学ぶ会) 電話

長野県立歴史館 開館30周年記念 令和6年度秋季企画展

描かれた川中島合戦 屏風・錦絵にみる戦の世界

2024/10/12Sat▶11/24Sun

休館日 月曜日(10月14日、11月4日は開館)  
祝日・振替休日の翌日(10月15日、11月5日)  
交通案内 長野自動車道「東横川」から車で5分  
しなの鉄道「屋代駅」・「屋代高校駅」から徒歩25分  
高速道路バス停「上信越屋代」から徒歩5分

区分	企画展	企画展+常設展	常設展・講演会
一般	300(200)円	500(400)円	300(200)円
大学生	160(100)円	250(200)円	150(100)円

長野県立歴史館 TEL:026-274-2000 FAX:026-274-3991

錦秋の千曲市 今月も多彩なイベントがいっぱい。その一部を紹介しします

白井ゆみ枝展

2024 10.6 SUN 日 11.17 SUN 日

@ 千曲市アートまちかど Shirai Yumie Wriggling, Breathing, and Rolling

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで最終日11/17のみ15時終了)  
休館日 (月曜日は開館)・祝日の翌日(10/15・11/5(火))  
観覧料 一般300円 高校生150円 中学生以下無料

主催:千曲市 千曲市教育委員会 白井ゆみ枝展実行委員会  
協力:(一社)科野青年会議所 (一社)ちくま未来戦略研究機構 信濃自動車工場 株式会社エンジニアリング  
共催:千曲商工会議所 戸倉上山田商工会  
後援:長野県庁 新聞・放送各社

芸術文化振興基金 助成事業

坂城町3小学校150周年おめでとう献立

坂城町の3小学校(坂城小学校、南条小学校、村上小学校)の創立150周年を記念して「150周年おめでとう献立」が提供された。各学校の給食委員会が献立メニューの候補から全児童によるタブレット投票を行い、赤飯や坂城産野菜のすまし汁、ねぎみ大根の切干煮物などの献立を選んだ。さらに3校の児童が描いたイラストがのりの包装用紙に印刷された。また、当日は各年代別の給食献立のレプリカや写真が校内に展示され、給食の歴史を学んだ。



150周年を迎えた3校の小学校にも提供された献立が提供された



150周年おめでとう献立のイラスト(左から坂城小、南条小、村上小)



150周年記念サイエンスショー(9月19日 村上小学校)

村上小学校150周年記念式典

今年創立150周年を迎えた村上小学校は9月19日、記念式典「村上小学校創立一五〇周年感謝の会」を執り行った。来賓や保護者を招いて第一部では1年生から6年生がふるさと学習の成果を発表。午後の第二部ではチャリー西村さんのサイエンスショーを実施した。チャリーさんが空気の動きを観察する空気砲や、傘袋を使ったロケット、空気の重さを体感する巨大風船などの実験を行うと、児童らは驚きの声を上げ、科学の楽しさを味わった。

「防災教育献立」を実施

9月1日の防災の日先立ち、8月26日に坂城町の小中学校で「防災教育献立」が提供された。この日のメニューは全国学校栄養士協議会が開発した「救給(きゆうきゆう)カレー」(150g)。東日本大震災の教訓から生まれたもので、レトルト式のカレーのなかにはご飯も一緒に入っている。袋はスタンドパウチ型で立てることができ、容器に移し替える必要がない。また、災害時にはお湯を沸かすことも難しいことから、そのまま開封して食べることが出来るが、今回は温めた状態での提供となった。救給カレーの賞味期間は3年6カ月。28品目のアレルギー特定原材料が不使用で、町の食育・学校給食センターの小椋理恵さんは「アレルギーがある人でも安心して



特別給食の様子(8月26日 坂城小学校)

食べられる。給食で体験することによって災害時には抵抗なく食べてもらえるようになってもらえれば」と狙いを語る。坂城小学校では5年生の児童から「辛さも普通で小さな子どもも食べられてよい」などの感想が聞かれた。



9月号のお詫びと訂正

先月号の7面の記事で掲載写真の画像が乱れた状態になっておりました。関係者の皆様には大変失礼をいたしました。お詫びのうえ、改めて写真を再掲載いたします。



坂城町立坂城小学校 中村 寛 くん



令和6年度 坂城町二十歳のつどい

坂城ツズ防災わいわい塾

小学生の防災意識を向上させ、地区の防災計画への啓発を目的とする学習会「坂城ツズ防災わいわい塾」が9月3日、坂城町文化センターで開催された。主催は県千曲建設事務所。坂城小学校の3年生と4年生が参加した。この学習会は教育(エデュケーション)と遊び(エンターテインメント)を融合させたエデュテイメントと銘打った形式で、東北信地域での開催は初めて。児童らは気象や災害をモチーフにしたキャラクターによるライブショーやクイズで防災に関する知識を学んだ。その後の体験学習では「土砂災害」「地震」「がけ崩れ」といった自然災害をわかりやすく対策模型を使って実演。災害発生時のメカニズムへの理解を深めた。スタッフの県砂防ボランティア協会・細川副支部長は「これをきっかけに家庭で防災に関する話をする雰囲気を作してほしい」と語っている。



キャラクターによるライブショー(上)

対策模型を使った防災学習(下)

「上山田温泉物語」 第5回

5・戦争と児童疎開と光明国民学校

日本本土大都市への本格的な空襲が開始されました。子供を空襲から守る名目で、地方の親類を頼っての縁故疎開、縁故のない子どもには学校ぐるみの集団疎開が開始されます。集団疎開はすでに昭和19年(1944)年8月から行われていました。千曲市内も戸倉上山田温泉や寺院などが疎開を受け入れていました。上山田温泉においては、池袋の小学校を中心に疎開が行われていました。ところが空襲が激しくなってきた東京に、一校だけ集団疎開先の見つからない学校がありました。それは世田谷にある東京光明国民学校。児童が肢体不自由児の為、放置されたのです。東京都が疎開先を探してくれないのなら自分で探すしかない、と、松本保平校長は早速疎開地探しに出かけます。校長の努力が周りの人たちが動かします。伝をたどり上山田村の役場で若林正春村長に協力を依頼します。正春村長は、池袋第3小学校が龍洞院に疎開替えになり空いていた自身の経営する

る上山田ホテルを提供します。リハビリ器具治療器具その他備品などは、梅ヶ丘の高射砲陣地の隊長の計らいで陸軍の兵站訓練として運搬ができました。また児童の移動は車両不足で満杯で走る電車が、多い時代でしたが日本国有鉄道の協力で2両の客車を貸し切ることができました。昭和20年(1945)5月15日、長野県上山田温泉上山田ホテルで光明学校の集団疎開が始まりました。なんと10日後の5月25日光明学校は空襲で燃えてしまったのです。戦後4年を経て新校舎が完成し、全校引揚・東京へ復帰できたのは昭和24年(1949)5月28日のことでした。4年間の上山田での疎開生活でした。



光明学校の倉庫にあった資料から1993年にまとめられた「信濃路はるか」(左)それを基に書かれたノンフィクション「あんずの木の下で」(右)

Advertisement for 'Japanese Sake and Meat' (日本酒と肉) at Ryugasaki. Includes QR code, menu items like 'Japanese Sake 1 cup 300-500 yen', and a detailed bus schedule table for the event on October 19th.

Advertisement for 'Dainippon Horei Printing Co., Ltd.' (大日本法令印刷株式会社) featuring a modern building image and contact information: 長野県長野市中御所 3-6-25, https://www.hourei.co.jp

### ものづくりフェア千曲2024

千曲市内の製造事業者による「ものづくりネット千曲」(加盟140社)と千曲市が主催した展示会「ものづくりフェア千曲2024」が戸倉創造館で開催された。

この展示会は中学生に地元製造業の「ものづくり」に関心を持たせ、企業の発展と人材確保につなげようという目的で今回初めて行われた。会場は千曲市内の地図を模して設置され、床には市内を縦断する千曲川や国道18号線を表示。展示を行った24の企業はそれぞれその所在地に沿ってブースが配置された。9月5日と6日にかけて市内の中学2年生に限定公開。生徒たちは展示ブースを回り担当者の説明を熱心に聞いていた。

メーカーは製造体験コーナーや製品を展示、食品加工会社ではジュースの試飲も行っていた。また、屋代高校附属中学校科学部も展示に参加した。

ものづくりネット千曲の宮川秀一会長は「子どもたちに千曲市の企業が誇る技術を知ってもらいたい。将来的にものづくりに携わってくれたら」と希望を語った。



機械加工から食品製造まで様々な企業が出展 (写真は寿高原食品のブース/戸倉)



3日目は会員企業の家族らへの公開日で、会場外では戸倉上山田商工会工業部会のEV自動車試乗も行われた

### 駅ナカ居場所カフェ

#### 期間限定でオープン

9月2日から7日の6日間、屋代駅市民ギャラリーで、期間限定の「駅ナカ居場所カフェ」がオープンした。この取り組みは地域に10代の居場所を作る「ユースセンター」の一環で、一般社団法人オレンジファムが主催。無料開放されたギャラリーで小学生から高校生までおしゃべりや勉強、ゲームなどで使うことが出来る。期間中はオレンジファムのスタッフやボランティアが常駐して対応に当たった。代表理事の中島壮太さんは屋代南高校の生徒がよく市民ギャラリーを利用していると聞き、この場所での開催を思いついたという。「施設を使わせてくれた千曲市に感謝している。中高生がワクワク出来るような居場所がもっと増えたら」と話す。

オレンジファムでは8月に雨宮にユースセンター「fav. place」をオープンしており、こちらは週3日(月・火・金)16時半から利用が可能。

9月21日、社会福祉法人いなりやま福祉会主催の第13回いな福まつりが開催された。満天の星会場では人気の福祉施設マールシェを今年も実施。市内外の社会福祉法人がお弁当や食品を販売した。長野市から今年初めて参加した信州そば工房きずなは西山地区の名産品・おぶつこうどんなどを出品した。屋外ブースでは焼きそばなどの屋台のほか、ステージイベントにタヒチアンダンスやチャダンスなどが登場。手話コーラスでは来場者と一緒に



3日目は会員企業の家族らへの公開日で、会場外では戸倉上山田商工会工業部会のEV自動車試乗も行われた

### 国際ソロプチミスト千曲 救急の日に「心肺蘇生法」啓蒙活動

国際ソロプチミスト千曲は日本医師会作成の心肺蘇生法の啓蒙活動を実施した。9月9日の「救急の日」に、しなの鉄道の4駅(坂城駅、戸倉駅、屋代駅、屋代高校前駅)で通勤・通学者に対して合計4000枚のカードをウェットティッシュなどと共に手渡した。



心肺蘇生法カード(上) 屋代駅前での活動(左)



心肺蘇生法カード(上) 屋代駅前での活動(左)

### いなりやま福祉会 第13回いな福まつり

9月21日、社会福祉法人いなりやま福祉会主催の第13回いな福まつりが開催された。満天の星会場では人気の福祉施設マールシェを今年も実施。市内外の社会福祉法人がお弁当や食品を販売した。長野市から今年初めて参加した信州そば工房きずなは西山地区の名産品・おぶつこうどんなどを出品した。屋外ブースでは焼きそばなどの屋台のほか、ステージイベントにタヒチアンダンスやチャダンスなどが登場。手話コーラスでは来場者と一緒に



つばさの会・手話コーラス

### 第4回ハートのまち(市)ちくま野外コンサート 秋の里山を満喫 堂の山野原で初開催

今年で4回目となる「ハートのまち(市)ちくま野外コンサート」が「おもてなし倶楽部代表の石澤洋子(市)ちくま野外コンサート」が主催。おもてなし倶楽部の活動が盛り込まれた。今年も里山の整備を行う「堂の山復活プロジェクト」との共催で堂の山の野原が会場となった。コンサートでは和楽器やコカリナ、篠笛の演奏のほか、民泊正直屋の兄弟デュオと棚田バンドがステージに立った。会場ではカレーや焼き鳥などのほか、地元産のシャインマスカット、りんごなどが販売された。また、昨年に続いて屋代高校の男女山岳部のメンバー10人が前日からボランティアでイベントに参加。コンサート当日は車の誘導や屋台販売などを手伝った。



野崎功さんの篠笛の演奏

### 冬期ニジマス釣り場

釣リズム信州 千曲川万葉橋〜大正橋間

今月から信州戸倉上山田温泉・冬期ニジマス釣り場の開設が始まる。期間は10月1日から来年2月15日までだが、ニジマスの放流初日は10月5日の予定(万葉橋下流左岸)。期間中に7回、600〜700匹ずつ放流する予定だ。千曲川の万葉橋から大正橋の間がキャッチ&リリース区間とされている(釣り方はえさ釣り、ルアー釣り、フライ釣り、テンカラ釣り)。遊漁料は日釣券が800円。現地購入の場合は1800円となる。更埴漁業協同組合のほか、市内のセブンイレブン14店舗や、長野市・上田市の釣り具店で購入が可能。中学生以下は無料。

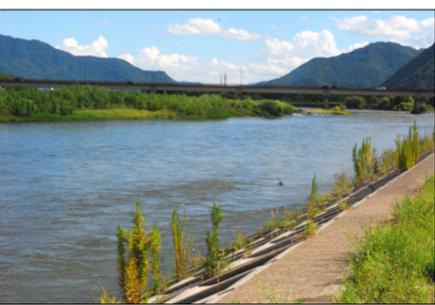
また、10月5日には同じく戸倉千曲川緑地公園を会場に「小中学生ニジマス釣り教室」を開催する。主催は釣りリズム信州・千曲市戸倉上山田地域協議会。

令和元年東日本台風の影響でニジマスの住む場所は減少してしまっていたが、生育環境を戻す取り組みが続けられている。更埴漁業協同組合の久保正治組合長は「出来るだけ楽しめるように努力している。ぜひお集まりください」と広く来場を呼び掛けている。



更埴漁業協同組合

【ニジマス放流日】  
(10月) 5日、12日、19日、26日  
(11月) 2日、9日、16日【全7回】



戸倉千曲川緑地公園 (万葉橋〜大正橋)

CARE メディカルケア株式会社

### サクラポートカ石 スタッフ募集!

- ☑ デイサービススタッフ・デイ管理者・看護師・調理員
- ☑ 正社員・パート相談可能! 事前見学もOKです



お問い合わせ先

026-273-4420

担当: 増野・藤森  
公式LINEからもお問い合わせ可能です♪

ホームページ 公式LINE



### よろづやで

あなたのお店をオープンしませんか?

ワンデーカフェ 店長募集!

内容 日・月曜日の営業(カフェ・ランチ)  
グループ等での運営がオススメ  
料金等のお問い合わせは「よろづや」までお願いします。

和かふえよろづや  
026-214-0039  
担当: 北村・青木

地元の銀行が金融教育を実施

八十二銀行屋代支店と長野銀行屋代支店は金融教育の講座を屋代高校附属中学校で実施した。出前講座は同中3年生の「公民」の授業内で8月と9月の2回行われ、8月30日は貨幣教育についての講座。札束の見本で枚数を数える「札勘定」の体験などを行った。

9月2日の講座では八十二銀行のスタッフが資産形成について教えた。銀行の役割の紹介に続いて、債券や株式、投資信託などの様々な運用法について説明。それぞれの商品の収益性や安全性を学んだ生徒らはグループごとに十年後の自分が100万円の現金についてどのような運用をしていきたいか、話し合いを発表した。



屋代小学校旧本館の保存活用を進める会 千曲市に提案・要望を提出

9月10日、「屋代小学校旧本館の保存活用を進める会」(渡辺和巳会長・以下、進める会)が千曲市に対して提案・要望を行なった。屋代小学校旧本館は明治21年(1888)の竣工で、今年建築136年を迎える。老朽化が進んでいることから、進める会では市の文化遺産として保存を進め、全面的な耐震復元工事を行うことを求めている。



屋代小学校旧本館



歌壇 安曇於保奈 選

【秀逸】 外科医師は膝の手術を終えて立つのこぎり・のみ持つ大工のこぎり

膝手術を終えた外科医師が目の前に立っていた。まるでのこぎりやのみを持つ大工のように見えたという歌。手術器具を持っていたのではないと思われるが、膝手術を終えた医師はそのように見えた。感謝と驚きが混ざった気持ちを巧みに詠まれた。

【佳作】 いつの日か主婦を卒業する日がくると信じ待ちます 卒業証書

主婦の卒業という歌。長らく家族を守り支え、地道に家事を続けられて、何ひとつ愚痴をこぼすこと

ともなかつたであろう作者。でも内心は主婦というものから卒業したい気持ちもある。卒業証書待ちます、という詩句が秀逸。

【入選】 今を生きることができればその日より人はしあわせに生きられるかも

荒井よし子 百歳の姉はメラニン減りし手をきれいでしょとわざとみせる 倉石みつる 歳を取り超健忘の今なれど短歌の応援で惚けを追い出す

那賀吉弥 案山子らよふんぞり返れば倒れるに実れば頭垂る穂を見よ

今回は飯山出身の歌人田井安曇(1930~2014)の歌を鑑賞してみたい。田井安曇は「綱

手」を創刊。飯山高校の校歌を作詞。歌碑と校歌碑が飯山高校敷地内にある。

信濃恋いまましんと湧き出でて遠信濃恋いはてしもあらず

【応募要領】 官製はがきに三首まで(二重投稿は不可) 住所・氏名・電話番号を付記 締め切り毎月十日

市校室521 屋代西沢書店2階 ちくま未来新聞 歌壇係

essay 東京だより(第5回)

こんにちは、イギリス生まれのユーモア作家、P・G・ウッドハウスの翻訳をしております、森村たまきです。東京でご活躍される千曲市ゆかりの方々をご紹介します第5回目は、再び屋代高校東京鳩会幹事の皆さんにご登場いただき、総務担当のジェントルマン、伊東博道さんをご紹介します。

伊東さんは昭和24年にお生まれで松代町のご出身。屋代高校時代には「電気班」に所属して、部室でJA0YCXというコールサインの屋代高校アマチュア無線局を運用していたそうです。大学は京都の同志社大学に進まれ、卒業後は旧郵政省の関係会社で自動車での郵便物の輸送・収集を専門とする日本郵便通送(株)にご就職。当時、赤い公用車といえば消防車か郵便自動車でしたから、日本郵便通送は「赤い郵便車を運行している会社」としておなじみだったそうです。

在職中は東京のほか国内7カ所の任地で勤務され、各地の人と交流したり、周辺をめぐって地域の自然や習慣、歴史のにおいを直接見たり嗅いだりしたことは豊かな経験だったとおっしゃいます。郵政民営化の際には同社の常務取締役として日本郵便輸送(株)設立の事務を担われ、新会社のスタートとその後のレールを敷くことに携われたのは喜びだったそうです。新会社でも引き続き常務取締役を務め、その後関連会社の役員などを歴任されて昨年退かれるまで、ずっと現役でご活躍でした。

ところで屋代高校時代に育んだアマチュア無線への情熱は現在再び花開き、10年ほど前に「老後の楽しみにでもなれば」と、最近の無線事情や電気工学を勉強しなおして無線局を再開局されたのだそうです。これが「大正解」で、リタイアされた方々の無線局再開局が全国的に増える中、お住まい周辺にも様々な人生経験を積んでこられた方々が多数いることが判明し、地域の無線家の皆

さんと交流したり、秋葉原を歩いて部品を購入して電気工作に没頭したりと、充実した日々をお過ごしなのだとおっしゃいます。

「そういえば、千曲市では屋代高校電気班の先輩方が『千曲市アマチュア無線クラブ』を立ち上げて活動されておられ、以前千曲市のイベント会場でお会いしたことがあるけれど、今どうしてるかな?」とのことですが、交流再開となるといいですね。



写真は東京鳩会総会の際に撮影。右端が伊東さんです。

著者紹介

森村たまき 翻訳家 内川出身

くすり屋の養生メモ

~その痛みはどこから?~

痛みは体からのSOSです。我慢できない痛みや日常生活に支障をきたす痛みには鎮痛剤が効果的です。鎮痛剤で痛みを抑えながら、痛みの原因を取り除くことがポイントです。「痛み」の3大原因には血行不良・筋肉の疲労・軟骨のすり減りですが人により原因はさまざまです。それぞれの原因を理解し適切に対策しましょう。



タカチ薬局 高地博実

~定休日及び営業時間が変わりました~

・月~金曜日 8:30~13:30 14:30~18:00

・第2、4、5土曜日 8:30~13:30

定休日 第1、3土曜日 日・祝祭日



千曲市内川801-1

タカチ薬局

おかげさまで8周年 2017年9月7日に つながるカフェよろづやをオープンし、おかげさまで8周年目を迎えることができました。人と人がつながっていき、共に未来を思い描き、わくわくした交流が生み出される場所になりました。 2024年9月吉日 よろづやスタッフ一同

おかげさまで よろづや8周年 アニバーサリーパーティー with 奈市楽座其の四十九 開催!! 10/12 SAT 12:00 8周年式典 12:30 ランチビュッフェ 2000円 14:30 カフェタイム 17:30 Flower Pop 花野俊一 18:00 Bar Jack Blues Trio 19:00 ディナービュッフェ 3000円 10/27 SUN 10:00 よろづや箱館市出店 13:00 アクティブノーテンキーズ 1周年記念 20:00 ディナービュッフェ 2000円

くすり屋の養生メモ ~その痛みはどこから?~ 痛みは体からのSOSです。我慢できない痛みや日常生活に支障をきたす痛みには鎮痛剤が効果的です。鎮痛剤で痛みを抑えながら、痛みの原因を取り除くことがポイントです。「痛み」の3大原因には血行不良・筋肉の疲労・軟骨のすり減りですが人により原因はさまざまです。それぞれの原因を理解し適切に対策しましょう。

※月号の「おじょうな800字小説」はお休みです 今回は趣向を変えてシナリオ形式の作品でお楽しみください

シナリオ作品「伝説のコメディアン、逝く」

■シーン① セレモニーホール・会場

大勢の参列者で席が埋まった葬祭場。ステージ上を埋める色鮮やかな菊の花。その中央に巨大な遺影がある。満面の笑顔でコミカルなポーズを決めている有栖川こうじ(72)が映っている。ステージ上では弔辞が読み上げられ、式が粛々と進行していく。客席からは時折笑い声も。

■シーン② セレモニーホール・ロビー

ロビー脇の喫煙ブースのソファに座る有栖川咲江(70)。その横に立っている有栖川南末(45)。煙草の煙をフツと一息吐く咲江。「咲江」…全く何だかって私がこんなしょうもない式に出なきゃいけないの」

南末「まだお父さんのこと怒ってるの? (小声で) 一応、おじどり夫婦で通ってるんだからさ。こんなところレポーターに見られたら変に思われるわよ」

咲江「昔から泣かされてきたの知ってるでしょ。七十過ぎてても女遊びを止めなかったのよ、あの南末」

南末「いいじゃない。もつ今日は…さあ、もつ戻らなく」

やれやれと言つ風に立ち上がる咲江。

■シーン③ 再びセレモニーホール・会場

座席に戻ってくる咲江と南末。ステージ袖に司会者が現れる。司会「えー、心温まるお言葉、誠にありがとうございます。水之江都々逸師匠でした」

咲江「ステージの照明が徐々に暗くなっていく。会場、徐々に静かになる。司会「…では、お待たせしました。本日は皆様から数々の温かいお言葉を頂戴し、故人も感激していることでしょう。…そこで、どうしてもし御礼がしたいとこの天国より…いや地獄かもしれないが、この男が舞い戻って参りました!」

有栖川「…帰ってきた昭和の爆笑王。伝説のコメディアン! 有栖川こうじです!」

ピンスポットがステージ中央に集まる。祭壇の花の中から跳び出て来る有栖川。真っ白の死に装束に額には天冠が。満面の笑みでステージに立つ。



会場からは拍手の渦。客席を見渡す有栖川。有栖川「ごもい、ごもい、素晴らしいお言葉の数々…心洗われる思いです。都々逸師匠、師匠の本葬の時にはボク、もつといいスピーチしますから今から楽しみにしてくださいよ」

有栖川「さて…」

姿勢を正し、頭を掻く。有栖川「本日は私の我儘でこんな馬鹿馬鹿しい催しを開かせて頂き誠に感謝いたします。思えば五十年の芸能生活、正に山あり谷ありでした」

俯き、ずっと無言のままの有栖川。有栖川「ボクは今日、死にました。そして、あの世で色々人生を振り返って見たんです。そしてらどうしても言わなくちゃいけない事に気付いて…ただいま帰って来ました」

客席に視線を移し、咲江を見つめる。視線を合わさない咲江。

有栖川「咲江ちゃん、苦しい時もよくボクを支えてくれてありがとう。色々迷惑かけてゴメン。君と一緒に人生を歩いてくれてボクは本当に幸せだった! これからもヨロシクね。愛してるよ!」

有栖川、咲江にウィンクしてVサイン。客席の視線が咲江に集まる。南末「お母さん、ほら笑って (小声)」

隣りの席の咲江に囁く。気難しい表情の咲江。南末「お母さんってば!」

ため息をつく咲江。咲江「…何よ、こんな場所で臭いこと言っちゃって。人の気持ちを考えないのは死んでも治りそうもないわね」

と有栖川を見て、引きつった笑顔で拍手する。司会「それではこれにて『有栖川こうじ芸能生活五十年記念・爆笑! 生前葬』をお開きにさせていただきます…皆様、この罰当たりな男にどうか今一度盛大な拍手を!」

会場に響く拍手と歓声。ステージ上で祭壇の写真と同じ決めポーズを取る有栖川。真と同じ決めポーズを取る有栖川。

著者紹介 東京鴨/シナリオセンター東京校・ライターズバンク所属

お便り&写真紹介コーナー

めじか 牝鹿 (撮影場所: 平沢池周辺)

「奥山に紅葉踏みわけ鳴く鹿の 声きく時ぞ秋は悲しき」百人一首の五番、猿丸太夫の歌です。この時期は野鳥もあまり動きませんので、蝶や蜻蛉を追い廻していましたが、市の西山(平沢池周辺)で沢の中に一頭でいる牝鹿を見つけました。大概是逃げてしまうのですが、全然私に気づかず、何枚か写真が撮れました。



写真と文 (千曲市屋代・神尾雄二さん)

ちくま未来新聞では写真の投稿も募集しています。お気軽にメールでお寄せください。info@km-mirai.org

ちくま未来俳句

選者 青木く美子(りんどう同人)

赤とんぼ野原の風をつれてくる 房子

姨捨の句碑や色なき風立つ 有美子

錠剤のころがる床や秋暑し 一子

助詞一字惑ふ残暑の一夜かな 秀貴

新蕎麦や上がりかまちの黒光り かほる

姨捨の山ある暮らし今年米 久恵

萩の宿宿場の先の切通し 奈美江

木曾馬の人なつこさや吾亦紅 恵美子

夏草に乗っ取られたる留守の庭 美智子

ロボットの運ぶ料理や暑気払い 弘子

デジタルに愚痴言ふ母やさるすべり 睦子

十五夜を入れてスマホのVサイン とし子

「ちくま未来俳句」のコーナーを今月号から再開いたします。今後ともお気軽にご投下下さい。

■投句先 〒387-0012千曲市桜堂521 ちくま未来新聞「俳句係」(屋代西沢書店2階)

千曲川柳会 楽しい川柳

選者 宇沢伊十

心して犀の流れや久米路橋 義忠

人生の夢は幾つも流れはて ひろ子

この星に生まれ育ってハッピーに 富士夫

居ないのか流れに逆う政治家は 重隆

星空は先人たちのキャンパスだ すみえ

我が人生千曲に映しどうと しげる

世界中どこにもない青い鳥 正文

千曲坂城地域 市民広報紙 ちくま未来新聞 千曲市・坂城町内 5,500 部発行 毎月1日・年12回発行 送料手数料込み 2,500 円 TEL・FAX またはちくま未来新聞 WEB から お申し込みください。 TEL・FAX 026-214-7905 〒387-0012 千曲市桜堂 512 西沢書店 2F (一社)ちくま未来戦略研究機構

NAGANO INTERNET BROADCASTING STATION 長野インターネット放送局 http://www.nibc-tv.org

看板の企画製作施工は シナノスクリーン工芸におまかせください。 壁面看板・自立看板・ウィンドウサイン・立て看板といったものから横断幕やLEDサインまで、形も種類も様々な看板。 目的や設置場所に応じてより効果的な看板をご提案いたします。 また看板のメンテナンス(電球の交換・修理・クリーニング等諸々)も承っております。お気軽にご相談ください。 千曲市大字森 621-1 株式会社 シナノスクリーン工芸 TEL 026-273-4378



プロバスケットボールリーグ

# 信州ブレイブウォリアーズ

## 2024/25プレシーズン国際親善試合 A・マクヘンリー選手引退セレモニー



Bリーグ・信州ブレイブウォリアーズは2シーズンぶりとなる千曲市での試合を開催。韓国バスケットリーグ・蔚山現代との国際親善試合におよそ2800人もの観客がことぶきアリーナ千曲に集まった。試合終了後には信州BWで6年間にわたってチームをけん引してきたアンソニー・マクヘンリー選手の引退・永久欠番セレモニーが執り行われた。



マクヘンリー選手と家族

**信州の偉大なレジェンド**  
9月14日、信州BWは2007年から2023年まで6シーズンにわたりチームの大黒柱を務めたアンソニー・マクヘンリー選手の引退セレモニーを執り行った。マクヘンリー選手は信州BWのB2優勝とB1昇格の原動力として活躍。在籍していた6年間で合計302試合に出場、3918得点を挙げた。

アーティスト・越ちひろさんが描いたマクヘンリー選手の肖像画をプリントした特製Tシャツを選手、スタッフ全員が身に付けた。かつてのチームメイト(齋藤崇人さん、齊藤洋介さん、武井弘明さん、佐藤也さん)も駆け付け、佐藤也さん(マクヘンリー選手)の言葉に涙を流した。勝久マイケルHCは「あなたが今の信州の土台を作ってくれた。一緒に働けたことを光栄に思う」と感謝の言葉を伝えた。最後のマクヘンリー選手とのあいさつでは勝久HCが自ら通訳を買って出る粋な計らいも見せた。



セレモニーは温かい雰囲気にも包まれた

BWではマクヘンリー選手の背番号「55番」がチーム初の永久欠番となることと決定している。この日の会場は得点板などが全て「55」で表示された。「我々信州は勝者に値するチームだと証明できた。ずっと信州の一員でいられることは光栄です。皆さん、愛しています(マクヘンリー選手)」。最後は午後5時55分ちょうどに「マクヘンリー」の愛着を述べた。

**千曲市で2年ぶりの試合開催**  
信州BWはシーズン開幕前にプレシーズン国際親善試合を開催。佐久市と千曲市で韓国バスケットボールリーグ(KBL)の2チームとの試合を行った。千曲大会には蔚山現代モビスフィバスを招く。KBLでの優勝経験も持つ相手にBWは終始リードを保つ展開。今季新加入の日本代表・渡邊飛勇が登壇すると、館内から大きな歓声が上がった。渡邊は躍動感あふれるプレーを見せ、フリースローも落ち着いて次々と決めていった。昨季チームに復帰した石川海斗も得意の3Pを連発し好調をアピール。B2優勝以来のことぶきアリーナで存在感を發揮したBW。10月5日開幕のB2リーグに向けて弾みを付けた。



(左)新加入の渡邊飛勇  
(右)栗原ルイス

**信州ブレイブウォリアーズ**  
B2リーグ2024/25シーズン  
ホームゲーム日程(10月)  
会場:長野ホワイトリング

19日(土)	14:05~	vs 青森ワッツ
20日(日)	14:05~	vs 青森ワッツ
23日(水)	19:35~	vs 富山グラウジーズ



サッカー

**北信越リーグ ディビジョン2**  
**リベルタス千曲FC**  
シーズン終了・HFL残留ならず



vs LP小松(9月8日)



vs エヌスタイル(9月22日)

HFL2部の残り3節。リベルタス千曲は絶対に負けられない第12節、LP小松に2点を先制され、崖っぷちに立たされるも、終盤に逆転して勝ち点3を収める。続く第13節はアウェイで首位相手に敗れ、降格圏の7位で迎えた最終節の相手は勝ち点差「2」で6位のエヌスタイル。ホーム、千曲市サッカー場での直接対決となった。勝った方がHFL残留となる運命の一戦はお互い一步も譲らぬ死闘に。しかし、結果は非情にも1-1のドロー。リベルタスは5年ぶりの昇格が決定した。

**Jリーグ ディビジョン3/WEリーグ**  
**AC長野パルセイロ & パルセイロレディース**

**AC長野パルセイロ J3 10月日程(ホーム)**

5日(土)	16:30~	vs 松本山雅FC
19日(土)	15:00~	vs FC琉球

**AC長野パルセイロレディース 10月日程(ホーム)**

9日(水)	19:00~	vs 日テレベレーザ
20日(日)	14:00~	vs マイナビ仙台

**秋の酒蔵市**  
アート&クラフトと食&酒と

**ラウム戸倉宿2024**

10/19(土)10:00~16:00  
10/20(日)10:00~15:00

**萱アートコンペ2024**  
Kaya Art Competition 2024 Exhibition  
10/6(土)~10/27(日) 9:00~17:00

アートギャラリーBlanc・飯蔵・昭和蔵  
10/6(日) 午後3時より授賞式  
10/27(日) 午前11時~クロージングパーティ・賞状(観客人気投票)授賞式  
主催:萱アートコンペ2024実行委員会

どちらも入場無料  
坂井銘醸株式会社 蕎麦料理處 萱  
tel 026-276-7205 web www.sakagura.co.jp 〒389-0804千曲市大字戸倉1855-1

**フットサルFリーグ ディビジョン2**  
**ポアルース長野**  
シーズン後半戦再開



屋代駅前通り商店街への訪問(8月24日)

フットサルFリーグは3カ月間の中断期間が終了し、いよいよ10月からリーグ戦が再開する。後半戦に向け8月24日にポアルース長野の選手とスタッフが出陣の駅(長野、須坂、篠ノ井、屋代)周辺でポスターを配布した。千曲市では岡本生成選手・鳥羽恭平選手・橋野司選手とセカンドチームの唐沢監督が屋代駅前通り商店街や千曲市役所を訪問。ことぶきアリーナ千曲でのホームゲームのPRを行った。現在ポアルースはディビジョン2唯一の9戦全勝で首位を独走中。悲願の1部復帰を目指す。残り9試合の内ホームゲーム4試合がことぶきアリーナで開催される。

**ポアルース長野**  
10月試合日程(ホームゲーム)

試合会場 ことぶきアリーナ千曲  
20日(日) 14:00~  
vs ポルセイド浜田

**若者応援キャンペーン** 食事付・税込

10/22(火) 11/19(火)  
40歳以下 6,500円 対象外の方 8,000円

**With レディースゴルフ** 食事付・税込

10/9(水) 11/13(水)  
女性2名以上で メンバー 6,800円 ビジター 7,800円

※ 予約時にプラン名をお知らせ下さい。申告がない場合は通常料金となります。  
※ お風呂はシャワーのみとなります。

**千曲高原カントリークラブ**  
〒387-0023 長野県千曲市八幡2  
TEL 026-272-2490 FAX 026-273-1520